

京極読書新聞 <第97号>

発行日 平成30年2月28日(水)
京極町生涯学習センター湧学館

京極の歴史 入門編② 「京極と丸亀藩」

京極町の開基は明治30年、京極農場に始まりますが、京極と丸亀藩には深い繋がりががあります。旧讃岐丸亀藩の七代目の藩主京極朗徹（あきゆき）は明治2年の「版籍奉還」により、丸亀藩知事となりましたが、明治4年には全国の諸藩にさきがけて「廃藩置県」を願い出て、4月に丸亀県となり朗徹は県知事になりました。

明治15年に朗徹は京極高德（たかのり）に家督を譲りました。当時、丸亀県下の人口密度は全国平均の2倍ありましたが、これを解消するために、官民一体となって広い土地を求めることとなり、北海道への移住が奨励されました。八代目藩主となった高德は、旧藩士の三崎龜之助や、すでに向洞翁の開拓に成功していた三橋政之の人選により、旧藩士の児玉忠廣に土地の選定を命じました。児玉は北海道に渡り道内をつぶさに調査し、空知の茶志内と胆振のワッカタサップが適地という報告をしました。その報告を受けた高德は明治28年、道廳にワッカタサップの土地の貸付けを申請し、翌年に許可が下り、約800ヘクタールの未開拓

地の開拓に着手しました。児玉は京極農場の初代管理人として開拓の指揮をとりました。

昭和13年に京極農場は小作人に開放されました。京極農場開放の喜びを永遠に残すとともに、京極家への謝意をこめて、昭和15年に村名を「東俱知安村」から「京極村」に改めました。



京極 高德



京極読書新聞 は毎月
発行を予定しています

▼ 2ページ目へ続きます

一年間を振り返る

『平家物語』を読む会 村山 功一

この一年間は、国内外とも大きな問題が発生した年でした。それはさておき、私たちの会は平穩に回を重ねることができました。

今年度の大きな特色としては、恒例の“黒滝千織京都レポート”の他に、二回の特別講座を実施したことでした。まず、9月15日開催の“黒滝レポート”は「古典教育と『平家物語』」と題して、特に小学校における古典教育の実情と、その中での『平家物語』の扱いを中心としたレポートでした。自身が担当している（家庭教師として）小学生が暗唱した『平家』冒頭部の音声を流したり、実際に授業を行う小学校の先生方の苦勞話などを紹介してくれました。古典教育の今後を考えさせられるテーマでした。

11月17日には伊藤 舞さんによる「古文書解説 基礎の基礎」講座を、12月1日には私たちの仲間である小原彦也さんの「大津周辺をめぐる旅」報告会を行いました。（いずれも前号で紹介）。

さて、本文も残り少なくなりました。新年度も気持ちを引き締めて、最後の一行まで完全読破すべく頑張りたいと思います。



発行

京極町生涯学習センター湧学館
〒044-0101 京極町字京極158番地1
TEL 0136-42-2700(代表)
FAX 0136-42-2032
E-Mail yugakukan@town-kyogoku.jp



ホームページもご覧ください
<http://lib-kyogoku.jp>

◆平成29年度活動状況

★行事など *日程変更

- 4/7 (金) 〔巻十一〕「志度合戦」
(予定より速く進行し「那須与一」「弓流し」の章は3月に終了)
- 4/21 (金) 〔巻十一〕「鶏合壇浦合戦」①
- *5/12 (金) 〔巻十一〕「鶏合壇浦合戦」②
- 5/19 (金) 〔巻十一〕「鶏合壇浦合戦」③
- 6/ 2 (金) 〔巻十一〕「能登殿最期」
- 6/16 (金) 〔巻十一〕「内侍所都入」
く“壇の浦合戦”まとめ①
- 7/14 (金) く“壇の浦合戦”まとめ②
- 7/21 (金) 〔巻十一〕「剣」①
- 8/ 4 (金) 〔巻十一〕「剣」②
- 8/18 (金) 〔巻十一〕「一門大路渡」①
- 9/ 1 (金) 〔巻十一〕「一門大路渡」②
「鏡」①
- ★9/15 (金) 「黒滝千織京都レポート」
17:00～視聴覚室
- 10/ 6 (金) 〔巻十一〕「鏡」②
- 10/20 (金) 〔巻十一〕「文之沙汰」①
- *11/10 (金) 〔巻十一〕「文之沙汰」②
「副将被斬」①
- ★11/17 (金) 特別講座「古文書講座 基礎の基礎」 講師：伊藤 舞氏
- ★12/ 1 (金) 特別講座「大津周辺をめぐる旅」報告会 報告：小原彦也氏
- 12/15 (金) 〔巻十一〕「腰越」

平成30年

- *1/12 (金) 〔巻十一〕「大臣被斬」①
- 1/19 (金) 〔巻十一〕「大臣被斬」②
- 2/ 2 (金) 〔巻十一〕「重衡被斬」①
- 2/16 (金) 〔巻十一〕「重衡被斬」②
- 3/ 2 (金) 〔巻十二〕「大地震」予定
- 3/16 (金) 〔巻十二〕「紺搔之沙汰」予定

